

# Collegium Musicum Shizuoka

コレギウム・ムジクム静岡 定期演奏会

## ベートーヴェン 交響曲 第7番 マーラー 大地の歌

小編成オーケストラ版

テノールとアルトとオーケストラのための交響曲



Tenore  
Tatsuya Murakami

テノール：村上 達哉



Alto  
Noriko Sato

アルト：佐藤 典子

2015

7月20日(月・祝日)

開演13:30 / 開場12:45

会場：静岡音楽館



〒420-8691 静岡市葵区黒金町1番地の9

指揮：高橋俊之

管弦楽：コレギウム・ムジクム静岡



2014年11月 アイワ不動産チャリティーコンサート 静岡音楽館AOI

主催：コレギウム・ムジクム静岡

協賛：アイワ不動産

後援：静岡市教育委員会 / 静岡新聞社・静岡放送

お問い合わせ：コレギウム・ムジクム静岡 電話：054-347-0164 (藤井)  
ホームページ <http://www.portwave.gr.jp/collegium-musicum>



# プログラム



ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン  
(Ludwig van Beethoven)

**交響曲第7番** ニ長調 作品92  
Symphony No. 7 in A major Op. 92  
(演奏時間 約40分)

- 第1楽章 Poco sostenuto - Vivace
- 第2楽章 Allegretto
- 第3楽章 Presto
- 第4楽章 Allegro con brio

～\*～ 休憩 20分 ～\*～

グスタフ・マーラー  
(Gustav Mahler)

**大地の歌** (小編成オーケストラ版)  
Das Lied von der Erde  
(演奏時間 約60分)

- アルト：佐藤典子 テノール：村上達哉
- 第1楽章 地上の悲しみを歌う酒宴の歌
  - 第2楽章 秋ひとり佇む者
  - 第3楽章 青春について
  - 第4楽章 美について
  - 第5楽章 春の酔っ払い
  - 第6楽章 告別

(終演予定時間 15:45)

## 世界の楽器や楽譜をあなたに！音楽のすべてにお応えします

We Sell All About Music

# 音楽舎

The Ongakusha Music Co.Ltd.

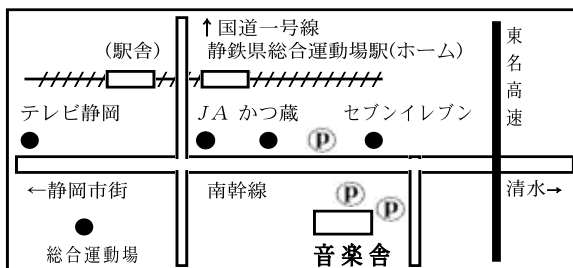
〒422-8004 静岡市駿河区国吉田4-8-6

TEL.054-265-2930 FAX.054-265-2932

URL <http://ongakusha.net/>

E-MAIL [info@ongakusha.net](mailto:info@ongakusha.net)

営業時間 AM10:30～PM7:00 日曜・祝日定休



静鉄総合運動場駅より徒歩3分、駐車場18台収容可、パステルグリーン色の建物です



## 世界が認めた シャコンヌ製 新作ヴァイオリン

- ♪大ホールが一番後ろまで豊かに届く音
  - ♪ストラディヴァリ、ガルネリと互角かそれ以上の音量
  - ♪反応が良くて弾きやすいので練習が楽しくなった など
- シャコンヌ製楽器をご使用の皆様から、多くの喜びの声をいただいております。

楽器弦楽器直輸入・修理調整・楽譜・鑑定・楽器保険

### 株式会社シャコンヌ

【シャコンヌ名古屋店】

名古屋市中区栄2-11-19 熊田白川ビル3F

☎052-202-1776

0120-485-245(フリーダイヤル)

【シャコンヌ東京吉祥寺店】

武蔵野市吉祥寺本町1-31-11 KSEビル904

☎0422-23-1879

※営業時間：10:00～18:30 定休日：日曜・月曜

※毛替えは予約不要です。いつでもお持ち下さい。

**CHACONNE**  
DEALERS OF FINE VIOLINS

<http://www.chaconne.info>

## 佐藤典子 (アルト独唱)

静岡雙葉高等学校卒業。国立音楽大学音楽学部声楽学科卒業。

藤井京子、角丸裕、白土里香の各氏に師事。公開レッスン、セミナーにおいて故ワルター・ベリー、ダニエーレ・アジマン、フィオレツラ・プランディーニ各氏のレッスンを受ける。

1988年、静岡市民文化会館記念事業 静岡市民オペラ及び2006年、東京芸術劇場においてビゼー作曲『カルメン』において主役カルメンを演じる。2002年、第1回静岡県民オペラ プッチーニ作曲『蝶々夫人』においてスズキ役で出演する他、数多くの作品に出演。コンサートではモーツァルト作曲「レクイエム」、「戴冠ミサ曲」、ヘンデル作曲「メサイア」、フォーレ作曲「レクイエム」、バッハ作曲「マニフィカート」、「ヨハネ受難曲」、マーラー作曲 交響曲第2番「復活」等のソリストを務める。

2012年8月には中国杭州劇院ホールにおいて静岡県中国浙江省友好提携30周年記念事業「第九演奏会」、2013年10月には静岡ヴェルディ合唱団公演においてヴェルディ作曲「レクイエム」、2015年2月には静岡フィルハーモニー管弦楽団特別演奏会においてソリストを務める。

2005年5月、静岡音楽館AOIにおいて「佐藤典子メゾソプラノリサイタル」を開催。

現在、常葉大学短期大学部音楽科、藤枝順心中学校・高等学校、静岡朝日テレビカルチャー各非常勤講師。静岡県オペラ協会会員、藤枝音楽協会会員。



## 村上達哉 (テノール独唱)



国立音楽大学声楽科卒業。竹内肇、田島好一、田口興輔の各氏に師事。1982年3月全四国学生音楽コンクール入賞、1997年全日本ソリストコンテスト声楽部門最優秀賞受賞、2013年東京国際声楽コンクール第3位入賞。地元浜松市民オペラにて「カルメン」ホセ、レメンダード、「椿姫」アルフレード役を演じ好評を博す。その他数多くのオペラの主役を演ずる。

モーツァルト／ヴェルディ「レクイエム」、ベートーヴェンの第九交響曲などのソリストとしても幅広く活動している。

2011年にはスペインの音楽祭に招かれリサイタルを行い好評を得た。また2014年にはマドリッド、ヴァレンシアにてリサイタルを行い満場のスタンディングオベーションを受けるなど海外での評価も非常に高い、近年は海外での演奏活動も積極的に行っている。

伊在任時にはナポリターナ歌手から直接指導を受けカンツォーネの発音とスタイルを学んだ。彼の歌うカンツォーネはその輝かしい声と情熱的な表現で多くのファンを持つ貴重なテノールである。2015年8月横浜にてアイダのラダメス役にて出演予定。柴田音楽事務所所属、静岡室内歌劇場団員、静岡県オペラ協会会員。

## 高橋俊之 (指揮者)

1968年生まれ。1979年より桐朋学園大学附属子供のための音楽教室、同高等学校を経て、1991年桐朋学園大学を卒業。同大学研究科、指揮教室を修了。指揮法を黒岩英臣氏をはじめ、飯守泰次郎、秋山和慶氏の各氏に師事。

1991年桐朋学園大学オーケストラの一員として、ニューヨーク・カーネギーホール、仏・エヴィアン音楽祭に出演。1992年スイス・ルガーノでマスター・プレイヤーズ、1993年ウィーン・マイスター、1995年イタリア・オルヴィエートでレスピーギ音楽院の各指揮コースに参加。2009年から、コレギウム・ムジクム静岡の指導にあたる。



## プログラム・ノート

### ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

#### 交響曲第7番 イ長調 作品92

ベートーヴェンの交響曲といたら「英雄」「運命」「田園」「合唱付」等のニックネームで呼ばれている曲が圧倒的に人気があります。ニックネームのない曲の中ではこの第7番が一番演奏される機会も多く初演当初（1813年）から人気がありました。近年ではテレビドラマ「のだめカンタービレ」でオープニング曲として第1楽章が使われ普段あまりクラシック音楽を聞かない若い人にも知られる様になりました。

のだめで知られる様になったのは前に述べた様に第1楽章ですが、一般的には特に第2楽章が人々に好まれました。初演の時から第2楽章がアンコールされたくらいです。この第2楽章もソプラノ歌手のキリ・テ・カナワがイン・パラディスムというCDのなかで「アレグレットタンゴ」という題名で歌っています。

ベートーヴェンは交響曲の中でいろいろな事を試しています。ハイドン、モーツァルト時代に使用されたメヌエットの楽章に代えてスケルツォを使用する様になる。トロンボーンを使用する。声楽・合唱を使用するなど。ではこの第7交響曲はどのような特徴があるのでしょうか。

通常交響曲は3～4つの楽章で構成されています。そのうち第2か第3楽章に遅い楽章が置かれるのが普通です。しかし、この第7交響曲は遅い楽章がありません。一番遅い第2楽章でもアレグレット（やや速く）という指示がされています。前後の楽章が速いのでそれでも遅く感じるかもしれません。曲全体を通してリズムが支配的であたかも舞曲が連なったかの様な躍動的な感じに聞こえます。

第1楽章はポコ・ソステヌートの序奏部に続いてヴァヴァーチェの主部が演奏されます。付点音符の軽快なリズムが全体を支配してとても躍動的な音楽です。

第2楽章はアレグレット（やや速く）と指示された複合3部形式の曲。主要な部分は同音を反復する和声的な変奏曲形式で非常に印象に残ります。

第3楽章、スケルツォとトリオで急速な音と音量の変化に富んだおどけて滑稽な曲。

最終楽章はアレグロ・コン・ブリオ（元気に速く）という指定の熱狂的な曲。（この指定は有名な「運命」の第1楽章と同じ）通常と異なり2拍子の2拍目に強拍が置かれます。狂喜乱舞の様なスピード感に心地良さを覚える事でしょう。

演奏にはとても持久力が必要で大変ですが、聞いてくださる方を熱狂の渦に巻き込めるような演奏を出来ればと思います。（細谷 裕和）

### グスタフ・マーラー

#### 大地の歌

マーラーといえば、あの有名なウィーンフィルの指揮者だった人、その上大作曲家ということを知っている方がいるでしょう。でも今回の演奏会で、この曲は初めて、いやマーラーの曲自体初めて聴く、という方もいらっしゃると思います。

マーラーの良さは、旋律、音色の豊かさにあります。ぞくぞくするような独特な響きが魅力的です。私たちは、西洋と東洋が入り混じった幻想的な約1時間の世界を、できる限り忠実に演奏させていただきます。感じるまま自然体で聴いて頂ければ幸いです。

この曲はマーラーの「交響曲第9番」として作曲されました。マーラー48歳のときの、最後の歌と管弦楽のための曲です。マーラーはベートーヴェン、ドボルザーク、ブルックナーなどの過去の作曲家の先例から、「第9交響曲」を書くと死ぬ、という迷信を気にしていました。そこでこの曲を「交響曲第9番」とせず、「大地の歌」とタイトルしました。しかしその後「交響曲第9番」を書いたあとに、「第10交響曲」を未完のまま51歳で亡くなりました。

「大地の歌」を含め完成した10曲の交響曲のうち、歌を取り入れた交響曲は5曲もあります。このような作曲家は他に例がありません。マーラーにとって、歌曲と管弦楽は切り離せないものでした。

叙情的な歌曲が中心で、最初のころは交響曲第2番「復活」などで希望ある詩を用いていましたが、晩年の「大地の歌」では、なぜ古代中国の厭世的な詩を選んだのでしょうか。

マーラーは世に認められるにつれ、指揮者と作曲の両方の仕事で多忙となり、無理をしたために、当時不治の病であった心臓病を宣告されました。そして死期と向き合うなかで出会った厭世的な東洋の詩に共感しました。“悠久の大地に比べれば人間の生ははかなく短い”という無常観が詩のテーマになっています。

中国との戦争が激しくなってきた昭和16年1月に新交響楽団（現在NHK交響楽団）によって日本初演が行われましたが、これを聴いて涙を流された学生がおられました。

時代背景が現在と大きく異なりますが、その学生の思いは、ある意味でこの曲をどう感じるのか、ひとつ

の参考になると思います。和田 裕さんのエッセイを紹介いたします（和田さんは現在もご健在で、ここに掲載の了承を得ています）。

（飯田 晃司）

## マーラー『大地の歌』に寄せて

和田 裕

十九世紀末より二十世紀初頭に活躍せるオーストリーの浪漫的作曲家グスタフ・マーラーに『大地の歌』と題せる歌曲を伴ふ交響曲作品あり。

余が最初にこの曲を鑑賞せしは昭和十六年(1941年)一月、日比谷公会堂における新交響楽団定期演奏会なり。当時余は齡十九、大学予科一年(旧制高校一年)に在学せり。その頃わが国と米英両国とは未だ戦争には至らざるも、日支間の紛争は愈々深刻にして解決の目途なく、戦雲いよよ暗澹たるものあり。前年は紀元二千六百年の祝賀行事行はるるも、物資は軍需優先せられ国民生活は日を追ひて窮屈ならざるを得ず。

学生生活も亦軍事教練強化され、徴兵猶予の特権も短縮を免れざる状況なり。斯かる時世なれば一部に厭世の人生観の語らるるもまた当然の風潮なりき。

当時の西洋古典音楽演奏曲目は、モーツアルト、ベートーベン、シューベルト或はチャイコフスキー、ショパンが主流にて、ブルックナー、マーラーの名のプログラムに載るは珍しかりき。市販せらるるレコードにおいても同様の傾向を示せり。

なれば新響定期一月公演の曲目に本邦初演として『大地の歌』が取り上げらるるを見て、珍しきものをとの思ひは在れど、それ程の興味は湧かず、関心はむしろ同時に演奏せらるるシューベルトの『未完成交響

曲』に向ひるたり。

この日の演奏は歌手としてテノール木下保、メゾソプラノ四谷文子の兩名登場し、指揮は常任のヨゼフ・ローゼンシュトックなり。

金管の荒々しき咆哮に始まる第一曲の旋律は初聴者には理解し易すからず、しかも木下氏は「金魚の嗽ひ」と揶揄せらるる如く口を開く割に声の響かざるため、やや戸惑ひのうちに曲進みしが、例の『生は暗黒にして』の一節に至りて衝撃的感動を受けたり。かくて我が耳新たに開かれ、次の四谷女史の歌ふ「秋に寂しきもの」にも纏綿たる叙情を感じ、只管解説の歌詞を追ふ間に、曲は遂に「告別」の章に至り、『愛しき大地は…』に始まる最終節が奏せられ行き、『…蒼き光の輝きは遙かに』が歌はれ、やがて音程を下げて静かに『エーヴィッヒ(永遠に)』が断続的に繰り返へされて消え入る如く終結を迎へたり。

余は感動の為拍手を忘れ唯呆然たるのみ。我が席の後方にて頻りに嗚咽の声を聞く。不審に思ひ振り返り見れば、余と同年配の受験生らしき学生服の男顔を覆ひて泣きに泣く。蓋し多感なる彼は重苦しき世相に己が身を憂ひ、世の行く末を思ひ煩ひて無情を感ずる余り慟哭すならむと身に詰まされし次第なり。

当時マーラーを好むものは限られしが、『やがて我が時代来らむ』との作曲者の予言通り、二十世紀後半に至りてマーラー・ブーム現出し、「大地の歌」を始め彼の交響曲若しくは歌曲は世界各国の交響楽団の主要演奏曲目となりたり。

『永遠に 永遠に』

※HP「文語の苑」掲載の文章を抜粋・転載させて頂きました。

## コレギウム・ムジクム静岡メンバー

ヴァイオリン	才茂 泰司	大内 裕子	江成 博行	才茂奈生子	鈴木 洋美	菅野 美穂
	望月 勉	大内 潤	江成 淳美	平本小都実	深澤 文	
ヴィオラ	飯田 晃司	杉山有紀子	横井 茉里	大村みち子		
チェロ	鈴木 誠一	常盤 洋平	細谷 裕和	坂口 陽子		
コントラバス	坂口 卓也	藤井 弘之	河原田 潤			
フルート	西貝 詳子	石野 智子				
オーボエ	大橋 且明	小田 紀子				
クラリネット	鈴木 教代	望月 好美				
ファゴット	伏見 寛之	森本 純一				
トランペット	杉山 雅行	深見 康英				
ホルン	山梨 晴臣	萱沼 咲	瀧 仁実			
パーカッション	西貝 誠一	青木 麻帆	稲熊 麻美	川口 明子		
鍵盤楽器	青木みすえ	三浦 奏恵	(ハルモニウムは電子楽器で代用演奏となります)			

## 「大地の歌」日本語翻訳歌詞

### 地上の悲しみを歌う酒宴の歌

黄金の酒杯は、君らをいぎなうが、  
まだ飲むなかれ！  
まずは私が一曲歌おう！  
悲しみを歌う曲ではあるが、  
君らのところには、  
高笑いとなって響くがいい。  
ひとたび悲しみが近づけば、  
こころの園は荒れ果てて、  
歓びも歌も枯れて死ぬ。  
生は闇だが、死もまた闇。

この家のあるじよ！  
おぬしの酒蔵は、  
黄金の酒に満ちている。  
そこにある琴を、私にくれ！  
琴をつまびくと、盃を干すとは、  
さても互いに、似合いのことよ。  
一杯の酒は、時さえ得れば、  
いかなる地上の国よりも、  
よほど価値の高きもの！  
生は闇だが、死もまた闇！  
天空は、とこしえに蒼い。  
大地はどこまでも  
揺るぎなく…春になれば花が咲く。  
ああ…なのに、人は  
どれだけ生きるというのか？  
百年にも満たぬ間を、  
つまらぬ地上のガラクタで  
気晴らしするのが、関の山！  
さあ、見下ろせ！  
月明かりの墓場にうずくまっている  
妖怪じみた姿を！  
猿だ！聞こえないのか？  
あの金切り声が！  
かぐわしき人生に呼びかける  
あの叫び声が！  
さあ、酒をとれ！  
その時が来たぞ、我が友たちよ！  
金盃の底まで飲み干すがいい！

生は闇だが、死もまた闇だ！

### 秋ひとり佇む者

湖水に青く広がる秋の霧…  
草木は、露におおわれて…  
さながら、翡翠のかけらをば、  
匠が花々にばらまいたかのよう。  
花の香りは消え失せて、  
冷たい風が、茎をたわめる。  
やがては、しぼんだ金色の蓮の葉が、  
湖水を流れていくでしょう。

私の心は疲れ切り、  
手にした灯りも、ふっと消えた…、  
いまは、眠りにさそわれるのみ。  
今から行くわ、やすらぎの地へ！  
ああ、もう休ませて！  
癒しが欲しいの！  
ひとりぼっちで、心ゆくまで泣く。  
あまりに長き心の秋…  
ねえ、愛の太陽よ、  
もう二度と、差し込んで来て、  
私のつらい涙を  
やさしくふき取ってはくれないの？

### 青春について

ちっちゃなお池の真ん中に、  
あずまや一つ、建っている。  
緑と白の瀬戸物づくり。  
虎の背のようなアーチをえがく  
翡翠でできた掛け橋が  
あずまやに向け、のびている。  
家の中には、仲間がつどう。  
着飾り、酒を酌み交わす。  
おしゃべりしたり、詩をつくる。  
みんなは、着物の袖を後ろにまくり、  
おまけに絹のかんむりも、  
ふざけるように、

首のほうまで、ずらしてる。  
小池の静かな水面の上は、  
みんなヘンテコな  
鏡の姿に映っているよ。

すべて逆立ちしているよ…  
あずまやの中みんな。  
緑と白の瀬戸物づくり。  
半月のような橋だって、  
アーチが逆さに映ってる。  
仲間は着飾り、飲み、しゃべる。

### 美について

乙女たちが花を摘む…  
河原で摘むのは、睡蓮の花。  
草木のあいだに腰をかけ、  
お膝に花を摘みながら、  
楽しく、はしゃぎあっている。  
金の陽射しがたゆたって、  
きらめく水に乙女たちの姿を映す。  
すると水面に映るのは、  
きゃしゃな体と、可愛い瞳。  
西から吹いたそよ風が、  
こびるようにそっと  
着物の袖をめくり上げると、  
魔法のような乙女の香りが、  
風に乗って、運ばれて行く。  
おや、何だ？  
向こうの河原で、元気な馬に乗って  
駆け回っている美少年たちは？  
お日様のように  
遠くにきらめいたと思ったら、  
もう沃野の草むらを駆け抜けて、  
若々しい姿で、やって来たぞ！  
一人の馬は、陽気にいななき、  
ためらいつつも、突き進む。  
蹄は、草花の上を通り抜け、  
急に巻き起こった嵐のように、  
倒れた花を踏みにじる。  
すごいぞ！

たなびく、あのたてがみ！  
鼻孔から出る熱い湯気！

金の陽射しがたゆたって、  
きらめく水に、乙女たちの姿を映す。  
最美の乙女は、憧れを込めて  
その少年をずっと見つめている。  
気位の高そうな  
振りをしているけれど、  
その娘のきらめく大きな瞳と  
熱い眼差しの陰では、  
ときめく胸の鼓動が、  
いついつまでも、ふるえている。

### 春の酔っ払い

生きてることが夢ならば、  
あくせくしたって、何になる？  
飲めなくなるまで、酒を飲もう。  
日がな一日、この良き日！

のども心も満ち足りて、  
もはや飲めなくなったなら、  
我が家の戸口に転がって、  
素敵な眠りをむさぼろう！

目覚めに何だか聞こえるぞ？  
聞いてごらん！  
こずえに鳥が歌ってる。  
ぼくは尋ねる…「もう春なのかい？  
まるで夢を見ているようだけど。」

鳥はさえずる…「そうだよ、そうさ！  
春が来たのさ！一夜で来たんだ！」  
じっくり考え、よく耳を澄ましたが、  
やっぱり鳥は、  
そこに笑って歌っている！

ぼくは新たに盃を満たし、  
ぐっと飲み干し、歌い続ける…  
暗い夜空に、  
月が出るまで！

歌えなくなったら、  
また寝よう。  
春だからって、何だってんだ！？  
ぼくを酔わせておいてくれ！

### 告 別

夕陽は、山の陰に隠れて、  
夕闇は、すべての谷に落ち、  
辺りは、涼しき影につつまれる。  
見よ！

しろがねの帆かけ船のように、  
天の蒼海に、月が漂い浮かぶのを。  
肌をなでる、やわらかな風…  
ヒノキの木陰に吹きそよぐ！

小川は闇の向こうから、  
妙なる響きを歌い、  
花々は、微光の中で青ざめる。  
大地は、憩いと眠りに息づき、  
ありとある憧れは、

夢を見ようとする。  
疲れた人々は家路をたどり、  
忘れてしまった幸せと  
若き日々とを、  
眠りの中に取り戻そうとする！

小鳥は、枝に身をひそめ、  
この世は、すべて眠りにつく！  
ヒノキの陰に、涼しき風が吹く。  
私はここで、友を待つ…  
友に最後の別れを告げるため。

ああ、友よ…君の傍らにいて、  
この夜の美しさを味わい尽くしたい。  
どこにいるのだ？  
いつまで独りでいさせる気だ！

私は、豎琴を持って、歩き廻る。  
やわらかな草ふくめる小道の上を。  
ああ、美よ！  
とこしえの愛と生に酔いしれた、  
この世よ！

馬から降りた友に、  
別れの盃を差し出して、  
問いかける…「どこへ行くのだ？  
なぜ行かねばならぬのだ？」

友は語り始めた…くぐもる声で。  
「我が友よ…  
私は、この世では  
幸せを得られなかった！  
どこへ行くかと？  
山へとさすらうつもりだ。

私の孤独なところは、  
安らぎを求めている。  
ふるさとへと帰るのだ…  
私の居場所へと。  
決して遠くに行くわけではない。  
心おだやかに、その時を待とう！

この、いとしき大地に、  
見わたす限り、  
春の花が咲き乱れ、  
新緑に燃える時を！  
どこまでも、とこしえに青き光、  
遙か彼方まで！  
とこしえに… とこしえに…！」

オペラ対訳プロジェクト <http://www31.atwiki.jp/oper/> から転載させて頂きました。

## コレギウム・ムジクム静岡 今後の演奏会予定

◆2015年10月11日(日) 静岡混声合唱団ひびき創立20周年記念コンサート (主催：静岡混声合唱団ひびき)  
ジョン・ラター：Magnificat、佐藤賢太郎：Requiem Pacis 会場：静岡音楽館 AOI

歌うように暮らしたい。



イメージキャラクター  
鈴木裕子

テレビCM放送中!

イメージキャラクター  
長尾春花

あなたの地図の、まんなかには、

人は心のなかに、じぶんの地図をもっています。  
そこは住みなれた街がひろがり、  
かけがえのない家族がいて  
今日までの人生が記されています。  
その地図に、  
マンションライフという夢を描いていただくこと。  
時代が変わっても色褪せない、  
価値ある生活空間をお届けすること。  
これが私たちの願いです。  
あなたの地図のまんなかをめざして。  
私たちはこれからも、ここ静岡県を舞台に、  
住まいづくり、街づくりに取り組んでまいります。

メゾン・ヴァンペールは、  
アイワ不動産の分譲マンションシリーズです。

**A棟**  
メゾン・ヴァンペール東静岡  
(平成26年9月完成 / 全49戸)

**B棟**  
ハルシティ  
(平成22年完成 / 全12戸)

ハルシティコート  
(平成22年完成 / 全52戸)

キララシティコート  
(平成18年完成 / 全77戸)  
(社)全国住宅建設業協会連合会  
優良団地賞受賞

デュオ万世町  
(平成17年完成 / 全26戸)

メゾン・ヴァンペール音羽の杜  
(平成16年完成 / 全36戸)

アコルデ駿府  
(平成16年完成 / 全25戸)

ヴィラ マリソール焼津  
(平成13年完成 / 全31戸)

メゾン・ヴァンペール江尻台  
(平成13年完成 / 全26戸)

メゾン・ヴァンペール大岩  
(平成12年完成 / 全18戸)

メゾン・ヴァンペール音羽町  
(平成11年完成 / 全12戸)

メゾン・ヴァンペール静岡  
(平成10年完成 / 全45戸)  
平成10年度住宅金融公庫  
優秀賞受賞

メゾン・ヴァンペール鷹匠  
(平成7年完成 / 全27戸)

メゾン・ヴァンペール中田  
(平成8年完成 / 全28戸)

メゾン・ヴァンペール安東  
(平成8年完成 / 全12戸)

**A棟**  
メゾン・ヴァンペール常磐町  
(平成9年完成 / 全14戸)

**B棟**  
メゾン・ヴァンペール広沢  
(平成9年完成 / 全42戸)

メゾン・ヴァンペール用宗  
(平成10年完成 / 全28戸)